

第14回 一線美術会・奈良グループ展

関西支部長 市川 紘子

- 会期…令和5年3月15日(水)～19日(日)
- 会場…ギャラリーGM・1

第14回・奈良グループ展を3月15日(水)～19日(日)ギャラリーGM・1で開催しました。

昨年と変わったことは、「コロナ対策」が緩和され、入り口での検温、記帳用等のアルコール消毒がなくなりました。マスクの着用は自由ですが、ギャラリー内は着用でした。今回、会場の照明が新しく変わり、壁面が塗りかえられて新鮮に思いました。搬入後、各自、作品の制作につき説明したり、講評会をしました。

大阪・京都方面から観覧者があり、盛会裏に終わることができました。

一人一点の小作品(4号～10号)ですが28名の出品者がありました。初出品者もいて、個性豊かな力作が多く、感動しました。

今回も懇親会は中止しましたが、明るく和気あいあいと楽しい会期でした。狭いながらも落ち着いたギャラリーと好評で、先輩方のご意見ご指導を頂き感謝の気持ちです。



講習会「油絵の用具と材料」

関西支部長 市川 紘子

- 日程…4月2日(日) 午後1時～3時
- 会場…西武公民館5階創作室

関西支部では支部総会の日に合わせて参加できるように、講習会を他団体で活躍されている先生をお迎えして行っています。

4月2日(日)午後1時～3時 奈良近鉄学園前駅の西部公民館の5階創作室で行いました。参加者は15名でした。

講師として岡田俊一先生(日洋会理事・日展会友・奈良県美術人協会会員・奈良市美術家協会会員・奈良県展・市展審査員)をお願いしました。講習内容は 主として「油絵の用具と材料」で

- ① 絵画表現の特色と構図について
- ② 油絵の用具と材料について
- ③ 油絵の表現技法について
(筆・刷毛の使用、ナイフの使用、異材料の使用)
- ④ 画溶液について

丁寧に細かく説明していただきました。平面作品で、自由で美的に色と形の図取り、視覚の要素、視覚の法則等、また、絵の具の色相では、組成顔料、耐熱性、退行性、着色力、被覆力、隠蔽力、乾燥度等について、また、画溶液については、個々の成分、定義、性質、主な使用法、貯蔵法等について説明いただき、先生から、プリントを9枚いただいたので受講者はよく理解できたことと思います。初めて知ったことなど大変勉強になりました。

クリムソンレーキ、ブルーサンプル等については個人的に興味深い絵の具で、混合する時や、毒性のある絵の具の注意や、あまり気にしないで使ったりしていましたので、気を付けようと思いました。

今回の講習会の内容を心にとめて、楽しく絵画制作を楽しみたいと思います。

